

2009年(平成21年)4月17日(金曜日)

かなざわ (28)⁺

城下町金沢の絵地図作り
をライフワークにしている
東山二丁目の末村武男さん
(九〇)が、藩政期の長町、長
土堀校下の絵地図作りを進
めていた。絵地図は現在、
工房・ギャラリーに改装中
の長町三丁目の町家に寄贈
される予定で、末村さんは

東山の末村さん

長町、長土堀の
藩政期を地図に

藩政期の長町、長土堀の絵地図を作成している末村さん
(右)と宮岸さん

「長町を訪れる観光客に当時の生活をしのんでもらいたい」と話している。

絵地図は、金沢駅東広場「もてなしドーム」で道案内などを行つボランティア

末村さんは三月から市玉川レゼント用に制作を依頼。グループ「金沢もてなし隊」の隊長、宮岸佑一さん(六四)が、町家の家主、吉村彰雄さん(大阪府在住)へのプレゼント用に制作を依頼。

図書館蔵の「金沢町名帳」「金沢町絵図」などを参考に、藩政期の長町、長土堀周辺の街並みを模造紙一枚に再現している。

地図には細い小道や住居が一つ一つ丁寧に描かれており。当時の行書体で書かれた文字を判読し、玄関の向きに従つて家の持ち主名も細かく記すなど、分かりやすい地図を目指している。

末村さんは文献をもとに、市内各地の藩政期の街並みを絵地図で再現することを約一十年にわたって続けてきた。これまで作成した絵地図は約百枚。「今後も依頼があれば絵地図作りを続けたい」と意欲をみせている。

観光客へ「当時しのんで」